

発言順序1 常翔会 「15番」 伊藤史郎 議員

1 施政方針について

伊藤市政2年目となる施政方針が示された。市長の基本姿勢である「安心」「安全」「成長」の三つの柱を念頭に、令和2年度予算編成は、より伊藤市政の特色を打ち出したものと言える。

同時に、市民に寄り添い、暮らしやすく快適な環境整備のための施策も盛り込まれ、まさに、ずっと住み続けたいまちづくりを示唆し、一定の評価とともに、伊藤市政の取り組みに期待するところである。

一方で、予算編成から見える市長の目指すべき市の方向性について、常翔会においても議論を重ねてきた。

そこで、施政方針に基づき、伊藤市長が今後どのような方針で市政を運営していくのか、総論的な考え及び具体的な方針について問う。

(1) 成長について問う。

常滑市の成長エンジンでもある中部国際空港セントレア及びりんくう町は、愛知県の協力により、ますます活性化してきた。施政方針では、空港を核とした「成長」を市民の安心安全につなげていくと記されているが、常翔会でもその考えに賛同するところであり、まちの健全な成長が市の活力と捉えている。

さて、常滑市の未来を見据えたとき、中部国際空港2本目の滑走路の早期実現は必要不可欠である。①市として2本目滑走路の実現に向けて現在の取り組み及び展望はどうか。また、空港周辺への名古屋港しゅんせつ土砂埋め立て計画も進んでいるが、②埋め立ては議会の議決要件と捉えてよいか。また、③現行スケジュールに当てはめるとその時期はいつになるのか。

西知多道路は常滑市での起工式を終え、いよいよ具体的に動き出した。④現在の進捗及び用地の買収率はどうか。⑤これまでの説明では無料の道路とされていたが、一部報道で有料化も視野に入れるとあった。常滑市としてどのように捉えているか。また、⑥西知多道路の現地事務所が知多市へ移転するが不具合は生じないか。新たな成長戦略の一つとして⑦青海インターチェンジ周辺及び多屋インターチェンジ付近の再開発もしくは土地利用を求める

が、その考えはないか。

愛知県において統合型リゾート I R 事業の可能性にかかる事業者からの意見募集も進められている。前回の代表質問では、国等におけるギャンブル依存症対策や治安対策などを明確にしてもらい、市民の皆さんの不安を解消することが重要であると考えを示されたが、⑧事業者からの意見募集が進められている中ではあるがその考えに変わりはないか。

定住人口の増加策の推進もまちの成長の柱の一つである。施策の拡充による定住人口増加を示しているが、定住人口を増加させるためには戸建て住宅を建設しやすい環境整備も大切である。⑨空き家等の利活用の推進や新たな受け皿となる施策は何か。

成長の一つに観光施策の充実も上げられている。観光協会との連携による情報発信とあるが、⑩これまでの情報発信に比べ、どのような強化を図るつもりか。また、開館 40 周年の節目に向けて、陶の森資料館の展示リニューアルも盛り込まれた。この事業は観光施策の目玉の一つでもある。この事業に関しては、令和元年度に実施設計等を行い、2 年度当初予算には展示製作等が計上されている。令和 3 年度にオープン予定であるが、展示リニューアルに関する⑪総事業費はどれほどか。⑫費用対効果の観点からどのように分析しているか。⑬より多くの皆さんに訪れてもらうためにアクセス対策の強化は必要と思うが、どのように考えているか。

ボートレースとこなめ新スタンド建設はいよいよ着工を迎える時期にきた。新スタンドはボートレースパーク化を全面に打ち出し、子育て世代も楽しく遊べるレジャー施設として整備されることから、常滑市の新たなランドマークとして成長戦略の一つと捉えている。現段階での完成予想図は公表されていないが、⑭イメージパースの公表はいつか。公表可能であればパネル展示を求めるがどうか。計画ではボーンランド社の遊具を備えた公園（モーヴィ）の整備があるが、⑮ボートレースとこなめが整備するこのモーヴィ施設は屋内か、それとも屋外か。あるいは屋内の快適性と屋外の開放感を兼ね備えた先進的で最新のハイブリットモーヴィ施設となるのか。

市民病院においては、病院の成長戦略として婦人科不妊治療センターが方針として示された。心配の声もある一方で、潜在的ニーズも考え、成長分野としての期待が高まる側面もある。⑯現在考えている不妊治療センターの概要(建設費・建設位置・建設手法等)及び収支見込み、医師確保の見通しはど

うか。また、半田病院との統合を控える中での計画であることから、⑰この計画に対する半田市立半田病院の見解はどうか。また、全面支援の確約はとれているか。⑱市として婦人科不妊治療センター計画を推進する最大の理由と期待される効果はどうか。

(2) 安全安心施策について問う。

安全安心施策は市民の暮らしに直結する大切なものである。

市長はすべての市民がこのまちに住んでよかった、ずっと住み続けたいと感じてもらえるよう、さまざまな安全安心施策を施政方針で示している。子育て世代への配慮や高齢者にやさしいまちづくりの推進。新庁舎の整備やインフラ、公共施設の老朽化対策、そして、安心できる医療体制の確立など、命を守る安全を推進し、暮らしの安心を実感できるための施策を推し進めている。特にハード面での安全は市の責務であり、早期の対応が求められている。

防災強化による市民の安全安心では、施政方針の中で、夏の猛暑も含め、全国各地で頻発する近年の災害被害を危惧し、この地域でも、南海トラフ地震の発生について心配している。前回の代表質問で常滑市域の強靱化について市域全体の強靱化に向けた年次指針の作成を言及したが、国土強靱化地域計画を策定する予定はないとの回答であった。しかしながら、総合計画策定の中で整理するとの方針は示された。今後、第6次総合計画を策定していくが、⑲防災強化の対策や脆弱箇所の把握方法、強靱化計画はどのように整理するつもりか。また、防災に関しては、市民も含め市職員一人ひとりが、常に防災意識を持ち続けることも肝要だ。発災時、市民の先頭に立ち活動することや的確に指示を示すことなど、市職員が頼りにされ、同時に求められることが予測される。常に意識を持ち続けるために、防災の専門家による意識改革も必要だ。全国各地で、地震、集中豪雨、台風など、過去に類を見ないほど大規模な災害が頻発する中、今後の常滑市の防災強化及び人材育成の観点からも、専門性の高い防災監の導入は大切な施策ではないか。今後、⑳防災監の採用は考えていないか。

まちの安全面では、相次ぐ道路の鉄蓋の不備を受け、現在建設部で一斉点検を行っている。㉑その進捗状況はどうか。㉒点検結果を踏まえ、今後、整備計画を策定するのか。

公共施設の老朽化による安全対策について、文化会館の改修では、これまでの小規模修繕から中規模な改修に取り組むと予算規模から推察できる。常翔会も要望を提出したことから一定の評価に値するが、⑳今後の文化会館及び中央公民館の方針はどうか。

暮らしの安心では医療体制の確保について明記してある。常滑市民病院と半田市立半田病院は経営統合に向けて協議を進めているが、この体制の確立こそ市民の暮らしの安心につながる。㉑現在の話し合いの進捗はどうか。また、病院事業を取り巻く環境が激変している中、現在の人員で市民が安心して医療の提供及び計画推進が担保できるか心配な面もある。㉒半田との経営統合を控え統合準備を進めるため、人員の増加や専門の事務職員の採用を求めるがその考えはあるか。

食の安全では新学校給食共同調理場建設移転も明記された。南北の学校給食共同調理場を統合し、建てかえ移転を進めるとあるが、㉓想定される建設費及び建設手法はどうか。また、㉔建てかえ移転の位置はどうか。㉕統合することによるリスクへの対応はどうか。㉖供給量などはどのように考えているか。

(3) 財政見通しについて聞く。㉗空港税収は順調に増加してきたが、新型コロナウイルスの問題など、状況は変化している。常滑市の財政に及ぼす影響はあるか。

発言順序2 新風クラブ 「9番」 井上 恭子 議員

1 市長の政治姿勢

今や私たちはスマホにキーワードを入力すれば、買い物もホテルの予約もでき、世界のニュースを知ることもしる。しかし、市民の税金で行われている行政の予算や事業を行政が提案、議会が承認するという構図で、ほとんどの市民が詳しい内容を知る由もない。しかし少子高齢化に伴い2025年には国民の4分の1が75歳以上となり、社会保障費が現役世代に負担として重くのしかかる。また、気候変動による災害が頻発し、最近では新型コロナウイルスの感染など、未だかつて直面したことがない事例が日本を襲ってきている。今後は空港や箱物重視の政策ではなく、「思いやり、支え合い、自分たちのまちは自分たちでつくる」という市民協働の政策が重要ではないだろうか。今後は人がキーワードである。

市長の施政方針は、安心・安全・成長についての政策が十分なほど羅列させており、これについては理解をしている。しかし、新風クラブが言えることは、経済状況がさまざまに変化している中、今までどおりではなく10年20年先を見越した政策が必要であると感じた。

そこで施政方針全体の中で是非取り入れていただきたい3つの観点がある。1つ目は、市民との協働がとても大切な分野であり、市民協働を成功させるには行政が持っている情報を全て公開することである。2つ目は、職員や市民の意識改革のための人材育成である。3つ目は、それを遂行するための健全な財政運営である。

そこで、以下3点について問う。

(1) 市民自治の原則に不可欠な情報を

① 常滑市に関心や愛着を持ってもらうためには、常滑市の詳しい情報が市民には必要不可欠である。しかし、市民はパブリックコメントで初めて事業の全容を知ることが多いが、市民の意見は参考にするだけで、変更が不可能な場合がほとんどである。市民あつての行政や議会であるので、日ごろからもっと市民の意見を吸い上げるために「市長と語る会」を定期的にテーマを決め開催してはどうか。

② 地域活動で「女性に役をやってもらいたいが、手を挙げてくれない」と

よく言われている。これは、女性は家を守っていればよいとして女性に情報を出していなかったり、機会を与えてこなかったからである。災害時避難所で女性の被害が多発していると報告されている。どの分野においても、今や女性のリーダーに対する要請は地域社会に必須であると考え。そこで、本市においての今後の女性リーダー要請の対策を問う。

③ 日本人のがんの発症率が2人に1人と多発し、アトピー、アレルギーも増加している。人の性格まで変えると言われるほど食はとても大切である。しかし、国産大豆に含まれる農薬はアメリカと比較して3倍も高く、また数値の高い食品添加物、防腐剤、遺伝子組み換え食品なども出回っている。日本における過度な農薬、添加物等が使われた食品を摂取する市民がそれを見極めるため、市民に対し市はどのように情報提供するのか。また、次世代を担う子どもたちに向けて安心安全な食べ物を提供するために、学校給食はオーガニック食材を取り入れる考えはあるか。

④ 海洋生物がマイクロプラスチックにより死に至るというニュースは知らされたが、食卓の塩にも、空気中にマイクロプラスチックが含まれ、私たち人間も被害者であり、加害者だということがまだまだ市民に認知されていない。そこで、ごみ処理においては先進的な本市において、住民にプラごみを出さない使わない等の情報が共有できるように「エコのとなめ」という市民団体をつくり、次期総合計画、都市計画マスタープランを策定後、各計画を推進する際には「エコのとなめ」と協働して進めていってほしいがどうか。そのようなオンリーワンのエコ政策をするのはどうか。

(2) 市民目線に立った職員が歩む経営

① まちに対する愛着を深め、まちづくりに積極的にかかわろうとする市民をふやすことはとても重要であり、現在その役目として市民協働を常滑市が進めている。市民を動かし調整をしていく役目が行政であるが、その目標に向けての具体的な考え方を問う。

② 本市で毎年開催されるイベントは、常滑焼まつりや農業まつり等である。他市では産業祭りや健康フェアとしていろいろな業種が入り、市民団体も参加している。祭りを自分ごととして捉えることができ、やる気が出て活性化にもつながる。やはり祭りは参加してこそ意義があるため、若い世代や老若男女が参画できるように、職員と市民がともに企画してほしい。多数の市

民が参加できるよう、催事情報の公開促進をしてほしい。

③日本財団によれば、日本の7人に1人の子どもが貧困にあるという。いじめ、虐待、ひきこもり、障がい者などが、本市においても増加傾向である。施設の現場では人が足りない、研修する予算や専門家が欲しい等のたくさんの声がある。今世界では「誰一人置き去りにしない」社会を実現するためにSDGsの達成に向けて歩みだしている。職員はもっと現場に飛び出し、市民とともにSDGsを念頭において、第6次総合計画を策定してほしい。

(3) 次世代のために、健全な財政運営を

① 行財政改革後、常滑市の借金は減ってきたが、今年度において過去最高の約38億円の借金をするため、将来の借金比率が確実に上がる。新型コロナウイルスの感染が世界に拡大する中、本市においても経済の後退が懸念され、来年度予算の修正があるのではないかと。そのような中、婦人科不妊治療センターの建設を始めようとしている。収入が曖昧であるため、賭けとも言われる計画が再度提出された。新風クラブとしては不妊治療に決して反対ではないが、もっと市民に説明し、他関係者との連携や外部の病院専門コンサルタントを入れてから行うべきである。赤字が続いた場合、市長責任はどう責任をとりますか。

② 税金で本当にやらなくてはいけない事業がどれだけあるのか。真剣に調査した結果、わずか20%くらい（構想日本調査より）である。目の前の課題をクリアーするのも大事であるが、10年後の財政を見込み、市民を含め事業仕分けをすべきではないか。業者任せの無駄遣いや、市民サービスに直結しないものは見直すべきである。

③今後65%の子どもたちが今存在していない職業につくと言われている。そのような次世代の子どもたちのために、AIの導入やビッグデータの活用を早急にしてほしい。それらを活用することによって、職員の業務の効率化を図り、市民とのふれあいをふやすことができる。しかし、AIの導入やビッグデータの活用をするためには人材育成が必要不可欠であり、予算をもっと割くべきだと考えるがどうか。